



2020年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月13日

上場会社名 メドピア株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6095 URL http://medpeer.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石見 陽
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 平林 利夫 TEL 03-4405-4905
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第1四半期の連結業績（2019年10月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第1四半期	941	23.4	183	4.8	206	16.6	151	18.4
2019年9月期第1四半期	762	39.2	174	89.9	176	97.9	127	155.1

(注) 包括利益 2020年9月期第1四半期 154百万円 (20.1%) 2019年9月期第1四半期 128百万円 (156.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第1四半期	7.59	7.22
2019年9月期第1四半期	6.95	6.79

(注) 当社は、2019年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第1四半期	4,580	3,978	83.1
2019年9月期	4,009	3,414	80.8

(参考) 自己資本 2020年9月期第1四半期 3,806百万円 2019年9月期 3,242百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2020年9月期	-	-	-	-	-
2020年9月期（予想）	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年9月期の連結業績予想（2019年10月1日～2020年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,200	70.7	820	46.8	800	44.2	520	31.7	25.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期1Q	20,152,100株	2019年9月期	19,762,900株
② 期末自己株式数	2020年9月期1Q	478株	2019年9月期	478株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年9月期1Q	19,915,750株	2019年9月期1Q	18,385,838株

(注) 当社は、2019年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「期中平均株式数（四半期累計）」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により、予想した数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる過程及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	3
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループが属する医療・健康産業においては、団塊の世代が全員75歳以上に達し医療・介護費の急増が懸念される、いわゆる2025年問題、さらに、既に減少に転じている生産年齢人口が2025年以降に更に減少が加速する中で団塊ジュニア世代が全員65歳以上に達して高齢者数がピークを迎え、医療・介護費の負担の増加が拡大する2040年問題を抱えております。かかる展望を踏まえ、持続可能な経済財政の基盤固めに向けた構造改革を日本政府は推進しており、健康寿命の延伸を喫緊の課題として『予防・健康管理』と『自立支援』に軸足を置きつつ、テクノロジーの活用により医療・介護サービスの生産性向上を実現する、新しい医療・介護システムを2020年までに本格稼働させることとしております。

さらに、製薬企業は医療従事者に向けた営業活動の生産性向上を企図し、情報提供・収集活動の一環としてウェブサイトやアプリ、ソーシャルネットワークなど、デジタルツールを活用した取り組みをより一層強化しております。これにより、製薬企業にとってのeマーケティングは、かつての医薬情報担当者（MR）の「補完」としての位置づけから「主軸」としての活用を期待されるポジションへと変化しております。

このような環境の中、当社グループは、ミッションである「Supporting Doctors, Helping Patients. (医師を支援すること。そして患者を救うこと。)」を実現すべく、医師専用コミュニティサイト「MedPeer」を基盤として医師や医療現場を支援するサービスを展開するドクタープラットフォーム事業と、健康増進・予防などのコンシューマー向けヘルスケア支援を展開するヘルスケアソリューション事業に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高941,016千円（前年同四半期比23.4%増）、営業利益183,217千円（同4.8%増）、経常利益206,084千円（同16.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益151,206千円（同18.4%増）となりました。

セグメント別業績は次のとおりであります。

① ドクタープラットフォーム事業

ドクタープラットフォーム事業では、MedPeerのドクタープラットフォームを基盤として医師や医療現場を支援するサービスを展開しております。

当第1四半期連結累計期間においては、医師のためのインターネットテレビ「MedPeer Channel」を開局するなど、国内医師の3人に1人の医師会員が利用するMedPeer上のコンテンツを充実させることにより、医師会員の活性度を向上する施策を展開してまいりました。また、薬剤評価掲示板などの広告配信を中心とした収益機会をコンテンツ制作や効果測定などの領域にも拡大させることを意図したサービス開発や提携を推進してまいりました。

これらの結果、売上高は691,911千円（同16.5%増）、セグメント利益は274,298千円（同15.0%増）となりました。

② ヘルスケアソリューション事業

ヘルスケアソリューション事業では、健康増進・予防などのコンシューマー向けヘルスケア支援を展開しております。

当第1四半期連結累計期間において、子会社の株式会社Mediplatが運営する産業保健支援サービス「first call」、及び、株式会社フィッツプラスが展開する特定保健指導事業の各事業の収益基盤の強化に注力してまいりました。また、株式会社Mediplatと株式会社スギ薬局の共同事業である「スギサポ」をはじめとするライフログプラットフォームの拡大を図るなど、事業拡大を推進しております。

これらの結果、売上高は249,208千円（同47.6%増）、セグメント利益33,122千円（同61.1%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて570,101千円増加し、4,580,073千円となりました。これは株式購入代金の前払いによる前払金538,574千円の増加、現金及び預金156,669千円の減少、及び受取手形及び売掛金139,273千円の増加を主要因とするものであります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて6,305千円増加し、601,951千円となりました。これは未払金39,683千円、買掛金31,797千円の増加、未払法人税等34,367千円、及び賞与引当金38,803千円の減少を主要因とするものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて563,796千円増加し、3,978,122千円となりました。これは新株予約権の行使による資本金及び資本剰余金の増加413,308千円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加151,206千円を主要因とするものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の連結業績予想につきましては、業績の進捗状況や新たな子会社取得（連結子会社化）の影響を踏まえ、2019年11月13日に公表した予想を上回る見込みとなりましたので、これを修正いたしました。詳細につきましては、本日（2020年2月13日）に公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,129,112	2,972,443
受取手形及び売掛金	502,554	641,828
前払金	4,525	543,100
その他	26,004	42,309
流動資産合計	3,662,197	4,199,681
固定資産		
有形固定資産	61,862	95,060
無形固定資産		
のれん	14,166	5,666
その他	118,628	124,159
無形固定資産合計	132,794	129,826
投資その他の資産	153,117	155,505
固定資産合計	347,774	380,392
資産合計	4,009,972	4,580,073
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,363	39,160
1年内返済予定の長期借入金	53,896	48,810
賞与引当金	48,890	10,087
ポイント引当金	67,152	58,299
未払金	115,541	155,224
未払法人税等	77,633	43,266
その他	126,694	138,124
流動負債合計	497,171	492,972
固定負債		
長期借入金	98,474	92,452
資産除去債務	—	16,526
固定負債合計	98,474	108,978
負債合計	595,645	601,951
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,306,734	1,513,388
資本剰余金	1,523,780	1,730,435
利益剰余金	411,964	563,171
自己株式	△448	△448
株主資本合計	3,242,029	3,806,546
新株予約権	19,469	15,933
非支配株主持分	152,826	155,642
純資産合計	3,414,326	3,978,122
負債純資産合計	4,009,972	4,580,073

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2018年10月1日 至 2018年12月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2019年10月1日 至 2019年12月31日）
売上高	762,814	941,016
売上原価	237,726	296,713
売上総利益	525,088	644,302
販売費及び一般管理費	350,336	461,084
営業利益	174,751	183,217
営業外収益		
持分法による投資利益	2,427	22,991
その他	129	91
営業外収益合計	2,557	23,083
営業外費用		
支払利息	479	194
為替差損	20	0
貸倒引当金繰入額	18	—
その他	—	22
営業外費用合計	518	216
経常利益	176,791	206,084
特別利益		
新株予約権戻入益	—	10
特別利益合計	—	10
税金等調整前四半期純利益	176,791	206,094
法人税、住民税及び事業税	25,543	34,526
法人税等調整額	22,973	17,545
法人税等合計	48,517	52,071
四半期純利益	128,273	154,022
非支配株主に帰属する四半期純利益	553	2,815
親会社株主に帰属する四半期純利益	127,719	151,206

（四半期連結包括利益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2018年10月1日 至 2018年12月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2019年10月1日 至 2019年12月31日）
四半期純利益	128,273	154,022
四半期包括利益	128,273	154,022
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	127,719	151,206
非支配株主に係る四半期包括利益	553	2,815

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第1四半期連結累計期間において、UBS AG London Branch等から新株予約権の行使による払い込みを受けました。この結果、当第1四半期連結累計期間において、資本金及び資本剰余金がそれぞれ206,654千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において、資本金が1,513,388千円、資本剰余金が1,730,435千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間（自 2018年10月1日 至 2018年12月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ドクタープラット フォーム事業	ヘルスケア ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	594,046	168,767	762,814	—	762,814
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	93	93	△93	—
計	594,046	168,860	762,907	△93	762,814
セグメント利益	238,481	20,565	259,047	△84,295	174,751

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去1,680千円、各報告セグメントに配分していない全社費用85,975千円が含まれております。

- 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第1四半期連結累計期間（自 2019年10月1日 至 2019年12月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ドクタープラット フォーム事業	ヘルスケア ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	691,900	249,115	941,016	—	941,016
セグメント間の内部売上 高又は振替高	11	93	104	△104	—
計	691,911	249,208	941,120	△104	941,016
セグメント利益	274,298	33,122	307,420	△124,203	183,217

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去2,265千円、各報告セグメントに配分していない全社費用126,468千円が含まれております。

- 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（重要な後発事象）

1. 株式取得による会社等の買収

当社は、2019年12月23日開催の取締役会において、株式会社コルボホールディングス（以下、コルボHD）の発行済株式を取得し、子会社化するための株式譲渡契約を締結することを決議したことに伴い、同日付で締結し、株式の取得手続は2020年1月1日に完了しております。

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及び事業の内容

名称 株式会社コルボホールディングス

事業内容 医療コンテンツの企画制作等を行う株式会社コルボの株式を所有することによる、当該会社の事業活動の支配・管理・指導・育成等

② 企業結合を行った主な理由

当社は現在、製薬企業におけるマーケティング戦略の策定からコンテンツ制作、配信、効果検証までのバリューチェーン全体を支援し、当社が運営する医師専用コミュニティサイト「MedPeer」をマーケティングプラットフォームとして進化させるべく、事業活動を推進しております。今回、コルボHDおよびその完全子会社である株式会社コルボを子会社化することでこの活動を強化し、「MedPeer」の特徴である医師会員同士の良質なコミュニケーションを通じて得られたインサイトを基盤としたコンテンツ制作を実現することが可能となります。また、同社の知見や顧客ネットワークを活かし、医療機器メーカーのマーケティング支援も強力に推進していくなどのグループシナジーの創出により、更なる事業拡大を推進するべく、同社の株式を取得し、子会社化することといたしました。

③ 企業結合日

2020年1月1日

④ 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式の取得

⑤ 結合後企業の名称

株式会社コルボホールディングス

⑥ 取得した議決権比率

100%

⑦ 取得企業を決定するに至った根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものであります。

(2) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	540,000千円
取得原価		540,000千円

(3) 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザーに対する報酬・手数料 5,500千円

(4) 支払資金の調達方法及び支払方法

全額自己資金より充当しております。

(5) 企業結合日に受け入れた資産及び引受けた負債並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。

(6) 発生したのれんの金額、発生原因、償却の方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

2. 新株予約権の行使

当社が発行いたしました以下の新株予約権（※1）につき、2020年1月1日から2020年1月31日までに、以下のとおり行使されております（※2）。

	第7回新株予約権	第9回新株予約権	第10回新株予約権	第11回新株予約権	第15回新株予約権
行使新株予約権個数	20個	8個	15個	767個	2,281個
交付株式数	20,000株	1,600株	3,000株	153,400株	456,200株
行使価額総額	1,500千円	1,454千円	624千円	48,781千円	700,038千円
未行使新株予約権個数	45個	1,316個	942個	3,097個	0個
増加する発行済株式数	20,000株	1,600株	3,000株	153,400株	456,200株
資本金増加額 ※3	750千円	731千円	320千円	24,812千円	350,806千円
資本準備金増加額 ※3	750千円	731千円	320千円	24,812千円	350,806千円

※1 本新株予約権の用途は、主に既存事業及び新規事業領域におけるM&A及び資本・業務提携に係る費用であります。

※2 上記の新株予約権の行使による新株の発行の結果、2020年1月31日現在の発行済株式総数は20,786,300株、資本金は1,890,809千円、資本準備金は1,913,233千円となっております。

※3 資本金増加額、資本準備金増加額には新株予約権の振替額がそれぞれ含まれております。